

学校だより



はるちか あたた はなし
春近し、ちょっと温かい話

ふくこうちよう みずかみ まさき
副校長 水上 正樹

こうとうぶ のうえんげいばん はたけ ちか うめ はな まんかい
高等部農園芸班の畑の近くの梅の花が満開となりました。赤、白、ピンクと様々な色合いで咲き誇っていて、春が近いことを感じさせてくれます。

さて、秦野養護学校は、今年度よりコミュニティスクールとなり、学校運営協議会で委員の方にたくさんご意見をいただいています。「ともに歩む総合的な特別支援学校」を目指す秦野養護学校の有力な応援団です。また、ボランティアの方には、コロナ禍の中でも可能な範囲で子どもの学びを支援していただいています。そして、保護者の皆さまには一番の応援団としてご協力していただいています。そうした大勢の方に支えられて教育活動が行えることに感謝するとともに幸せな気持ちでいっぱいです。

ところで、事故不祥事防止のため、昨年度に策定された「児童・生徒への丁寧な関わり方のスタンダード」は、さらにブラッシュアップして、人権を尊重した指導の基本として活用されています。E高等部のあるクラスでは、生徒や先生が互いの良いところや行いに対して感謝の気持ちをメモに書いて「ありがとうボード」に貼る取組をしています。人権教育の良い実践であり、とても温かい気持ちになりました。

学校目標2の達成に向けて、個別教育計画の改善を進めています。保護者、本人と担任が目標や手だてを共有し、学年や学部が変わっても同じ視点で指導を進められる、より分かりやすい活きたツールとなるように、小・中・高で同じ書式にしていけますのでご期待ください。

れいわ ねん ど がっこうひょうか
令和2年度学校評価アンケート結果について

きょうとう あさくら くみこ
教頭 朝倉 久美子

2月に実施いたしました学校評価アンケートについてご報告いたします。今年度は学校目標が新たになったことに合わせ、質問も改めました。16の質問項目にそれぞれ4段階で評価をしていただきました。各項目の回答平均値は裏面に載せた表のようになっております。

保護者の皆様からは全体で4.00満点中3.49点という比較的高い評価をいただくことができました。項目別にみると、保護者対応、不祥事防止、教育環境、人権尊重（質問14・16・15・5）に特に高い評価をいただいております。一方、地域とふれあう教育、小中高一貫性、交流や共同学習（質問1・2・6・11）が低めの評価となりました。これらについては、新型コロナウイルス感染症対策のため仕方がないとのコメントもいただきましたが、来年度以降のウィズコロナ、アフターコロナに対応できる活動を検討していきたいと考えております。また、病弱教育・訪問教育における「地域」の捉えを改め直し遠隔教育を一層推進していきます。今年度は本校のコロナ対策だけでなく、神奈川病院、神奈川リハビリテーション病院、弘済学園の諸条件により、保護者来校の機会を減らさざるを得ず、ICTを活用した教育活動などをお伝えきれなかった感があります。来年度は教育活動の充実とともに保護者の皆様への情報提供にも努めてまいります。ご協力ありがとうございました。



質問への回答点数が…4でできている 3ほぼできている 2あまりできている 1できている 0知らないわからない無回答

| 職員 | 保護者 |
|------|-----|
| 123 | 166 |
| 123 | 118 |
| 100% | 71% |

| 学校目標 | 質問項目 | 平均点 | 平均点 | わからない |
|---|---|------|------|-------|
| 自立と社会参加をめざし、一貫性・系統性のある「秦野らしい」教育課程の整備とそのしくみの確立、および専門性維持向上のための取組を進める。 | 1 地域を教育の場とし、地域の方とふれあう教育活動を行っている。 | 2.98 | 3.26 | 23.7% |
| | 2 小中高の一貫性を持ち、知肢病3つの教育部門のある総合的な特別支援学校であることを活かした学習内容になっている。 | 2.66 | 3.43 | 15.3% |
| | 3 専門性の向上のための取組や教員同士の学び合いなど、組織的な授業改善を進めている。 | 3.24 | 3.53 | 31.4% |
| 児童生徒の個性を尊重し、多様な教育的ニーズに配慮しながら、「自己実現」と「共生」をめざした指導・支援を組織的に行う。 | 4 職員がそれぞれの専門性を発揮し、多面的に児童生徒の実態を把握している。 | 3.31 | 3.55 | 12.7% |
| | 5 児童生徒の「さん」付け呼称やジェンダーフリーなど、児童生徒一人ひとりの人権を尊重した指導を行っている。 | 3.36 | 3.68 | 5.9% |
| | 6 近隣の買物学習、近隣施設や公園、畑の利用などで地域住民と交流したり、部門間で交流したりすることを積極的にやっている。 | 2.65 | 3.37 | 12.7% |
| | 7 生活年齢や発達に合わせ、小中高のつながりや前籍校等との引継ぎ、障害特性を踏まえた授業を計画している。 | 3.18 | 3.49 | 9.3% |
| | 8 地域や企業と連携を図り、現場実習等を活用した児童生徒の将来の自立に向けた授業を実践している。 | 3.08 | 3.49 | 23.7% |
| | 9 適切な進路選択につながるよう、進路見学や面談、進路説明会等をとおして、保護者や児童生徒が求めている進路に関する情報を提供している。 | 3.20 | 3.48 | 16.1% |
| 他者を尊重し、多様性を認め合う共生社会の実現に向けて、支援教育及びインクルーシブ教育を「地域とともに」推進する。 | 10 地域、保護者、福祉機関、企業、ボランティア等との協働による学校運営の推進に取り組んでいる。 | 3.21 | 3.37 | 22.0% |
| | 11 自治会等との交流や小中学校の居住地交流、地域の学校との交流及び共同学習に取り組んでいる。 | 2.62 | 3.24 | 28.8% |
| | 12 ICTを活用した学習、オンラインで他校や他機関と交流や学習を積極的に行っている。 | 3.21 | 3.20 | 28.8% |
| | 13 保護者が子どもたちを学校に通わせたいと思う学校となっている。 | 3.29 | 3.54 | 4.2% |
| 保護者、地域、関係機関等から「信頼される学校」をめざし、児童生徒が安全に安心して過ごせる教育環境を整備する。 | 14 職員は保護者に丁寧な対応をしている。 | 3.59 | 3.70 | 1.7% |
| | 15 学校は児童生徒が安全で安心して過ごせる環境を整えている。 | 3.36 | 3.61 | 3.4% |
| | 16 学校は事故不祥事防止にしっかりと取り組んでいる。 | 3.47 | 3.64 | 15.3% |

